

平成21年3月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成20年7月30日

上場会社名 株式会社さくらパートナー  
コード番号 8514

上場取引所 札幌証券取引所  
URL <http://www.sakura-partner.co.jp>

代表者 代表取締役社長 太田 勝久  
問合せ先責任者 企画部部长 高谷 則章  
四半期報告書提出予定日 平成20年8月14日

TEL (011)622-1515

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	326	(—)	156	(—)	161	(—)	68	(—)
20年3月期第1四半期	511	(△31.7)	41	(△37.1)	74	(△30.7)	67	(△1.0)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
21年3月期第1四半期	7	47	—	—
20年3月期第1四半期	7	34	—	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
21年3月期第1四半期	9,061		3,209		35.4		350 11	
20年3月期	9,869		3,134		31.8		341 98	

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 3,209百万円 20年3月期 3,134百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	0 00	—	0 00	0 00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	0 00	—	0 00	0 00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 : 無

3. 平成21年3月期の業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期累計期間	530	△44.4	6	—	15	—	15	—	1	64
通期	1,030	△37.9	10	—	30	—	30	—	3	27

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

[(注) 詳細は、3 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの）

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

[(注) 詳細は、3 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

21年3月期第1四半期	9,714,000株	20年3月期	9,714,000株
-------------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

21年3月期第1四半期	547,780株	20年3月期	547,780株
-------------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計期間）

21年3月期第1四半期	9,166,220株	20年3月期第1四半期	9,166,320株
-------------	------------	-------------	------------

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

・定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期のわが国経済は、米国サブプライム問題を背景とする金融不安の高まりや、原油・原材料価格の高騰により企業業績は不透明な状況が続き、個人消費においても減速感が顕著となっております。

当社の主要な事業である企業金融事業は、米国のサブプライムローン問題を発端とした信用収縮の影響により資金需要の減退並びに融資基準の厳格化に伴い、融資残高は横這いで推移し、企業向け融資事業に係る営業貸付金残高は期中49百万円減少し2,174百万円（前期末比2.2%減）となりました。

事業構造転換に伴いソフトランディングで縮小している消費者金融事業は、計画より営業貸付金の回収が進み期中625百万円減少し3,842百万円（前期末比14.0%減）となりました。

これらの結果、当第1四半期の業績につきましては、営業収益326百万円（前年同四半期比36.1%減）となりました。

経常利益は161百万円（前年同四半期比116.6%増）、また、時価のない株式について「金融商品に係る会計基準」に基づき、事業展開における回収可能性および財政状態を検討しました結果、100百万円の投資有価証券評価損を計上することとなり、第1四半期純利益は68百万円（前年同四半期比1.9%増）となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の総資産額は9,061百万円となり、前事業年度末と比較し807百万円減少いたしました。主な要因は、営業貸付金の合計残高が675百万円減少したことなどによるものであります。

負債合計は5,852百万円となり、前事業年度末と比較し882百万円減少いたしました。主な原因は、借入金を675百万円返済したことなどによるものであります。

純資産合計は、3,209百万円となり、前事業年度と比較し74百万円増加いたしました。主な要因は、当四半期純利益68百万円の計上による増加などであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成21年3月期の業績予想につきましては、平成20年5月15日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期末の貸倒実績率等が前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

## 5. 【四半期財務諸表】

## (1) 【四半期貸借対照表】

	(単位：千円)	
	当第1四半期会計期間末 (平成20年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,380,711	1,583,255
営業貸付金	6,016,865	6,692,084
営業投資有価証券	119,856	119,856
売掛金	109	—
その他	193,851	177,482
貸倒引当金	△ 562,047	△ 710,463
流動資産合計	7,149,347	7,862,214
固定資産		
有形固定資産	545,274	548,170
無形固定資産	31,697	39,390
投資その他の資産		
その他	1,391,057	1,487,673
貸倒引当金	△ 55,485	△ 67,583
投資その他の資産合計	1,335,571	1,420,089
固定資産合計	1,912,543	2,007,650
資産合計	9,061,891	9,869,864

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成20年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	—	256,000
買掛金	72	—
1年内返済予定長期借入金	1,131,476	1,294,860
未払法人税等	970	15,552
その他	22,432	25,600
流動負債合計	1,154,951	1,592,012
固定負債		
長期借入金	1,036,340	1,292,312
利息返還損失引当金	3,487,150	3,681,642
役員退職慰労引当金	54,625	53,395
その他	119,621	115,824
固定負債合計	4,697,737	5,143,173
負債合計	5,852,689	6,735,186
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,867,860	1,867,860
資本剰余金	1,408,930	1,803,518
利益剰余金	68,504	△ 394,588
自己株式	△ 199,910	△ 199,910
株主資本合計	3,145,383	3,076,879
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	63,818	57,798
評価・換算差額等合計	63,818	57,798
純資産合計	3,209,202	3,134,678
負債純資産合計	9,061,891	9,869,864

(2) 【四半期損益計算書】

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
営業収益	
営業貸付金利息	302,179
売上高	109
その他の金融収益	706
その他の営業収益	23,928
営業収益合計	326,924
営業費用	
金融費用	20,699
売上原価	72
その他の営業費用	149,993
営業利益	156,158
営業外収益	
有価証券利息	2,000
受取配当金	1,756
その他	1,381
営業外収益合計	5,137
経常利益	161,296
特別利益	
前期損益修正益	8,000
特別利益合計	8,000
特別損失	
投資有価証券評価損	100,554
特別損失合計	100,554
税引前四半期純利益	68,741
法人税、住民税及び事業税	237
四半期純利益	68,504

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	68,741
減価償却費	11,384
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△160,514
受取利息及び受取配当金	△2,708
支払利息	16,807
営業貸付金の増減額(△は増加)	675,218
利息返還損失引当金の増減額(△は減少)	△194,492
その他	87,782
小計	502,220
利息及び配当金の受取額	2,158
利息の支払額	△15,290
法人税等の支払額	△15,861
営業活動によるキャッシュ・フロー	473,226
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期性預金の預入による支出	△400,000
定期性預金の満期による収入	400,000
その他	△397
投資活動によるキャッシュ・フロー	△397
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の返済による支出	△256,000
長期借入金の返済による支出	△419,356
配当金の支払額	△17
財務活動によるキャッシュ・フロー	△675,373
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△202,544
現金及び現金同等物の期首残高	1,371,255
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,168,711

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成20年6月27日付で、資本準備金、利益準備金、別途積立金及びその他資本剰余金を減少させ、欠損の填補を行っております。この結果、当第1四半期会計期間において、資本準備金が387,719千円、利益準備金が92,169千円、別途積立金が2,613,000千円、その他資本剰余金が6,868千円減少し、当第1四半期末において資本金が1,867,860千円、資本準備金が1,408,930千円、繰越利益剰余金が68,504千円となっております。